

令和6年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(2学年)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	・「人間と社会」の意義と学習活動の説明 *はじめに *序「人間と社会～学習の視点～」	・「人間と社会」の意義について学ぶ ・課題解決のプロセスを確認する。素朴な疑問から興味・関心を深め、自らの「問い」として設定することを学ぶ。	「人間と社会」に関する基礎的な知識・理解、探究について学んだ後、ワークシートにまとめて提出させる。 【課題意識】 【主体的な取組】	1
	5	*12「支え合う社会」	・支えあう社会について学び、支えあうことについて議論する。		3
	6	*13「地域社会を築く」 八王子市役所と連携した「八王子市の未来を考える」社会科学探究	・地域社会を築くことについて学び、地域社会を築くために大切な考えについて議論する。 ・地域の人々の話を聞いたり、現地調査を通して情報収集し、地域の状況について整理・分析をする。 ・Web・文献・現地調査での情報を比較し、イメージマップ等を利用して、共通点と相違点を明らかにし、八王子市の課題を複数の角度から捉えて、テーマを決定する。		3
	7		フィールドワーク計画をワークシートにまとめる	体験活動の意義や、我々を取り巻く様々な課題を考えさせ、課題設定をさせる。 【課題意識】 【主体的な取組】 【行動変容】	2
	9		・八王子市役所と連携して、テーマ分野ごとの講演会やワークショップ等の実施。	実際の自分の立場に置き換え、情報収集し、課題解決の中間整理を行う。 【行動変容】 【情報整理・分析】 【主体的な取組】 【行動変容】 【社会貢献】	4 事前学習
	10		・自ら設定した課題から体験活動を照し合わせて、発展的な課題解決を図る。		
	11		・どのような方法で八王子市の課題を解決するのか、グループごとに考え、フィールドワークによる根拠収集。	地域に対する貢献意識の醸成 【課題意識】 【社会貢献】	9
	12		①学校周辺の現場の視察。 ②学校周辺の自治会等の対話。		
	1		・八王子市の課題の提言内容をフィールドワークのデータ整理・分析からまとめて、提言考察。	地域に貢献とはどのようなことなのかを高校生としての提言の体験を通して学ぶ。 「発表評価カード」「聞き方評価カード」を用い、自己・相互評価を取り入れる。 【課題意識】 【主体的な取組】 【行動変容】 【社会貢献】	3
	2		・提言内容のプレゼンテーションの作成作業。		
	3	*最終章「人間と社会～これからの生き方～」 *おわりに	・提言内容の発表会実施。 「発表評価カード」「聞き方評価カード」活用。 ・事後学習活動として、協力してくれた地域の方々への礼状作成。 ・振り返りの実施。		4
配当時間数の合計					35 演習 23 時間 体験活動 12 時間